

「地域づくりセミナーin新潟」開催レポート

2022年11月29日／会場：新潟東映ホテル

「地域づくりセミナー」は、2013年より「自立した持続可能な地域社会創造助成事業」の成果報告会の一環として県内各地域で開催されてきたものです。2022年度から本助成と「NPO等助成」が統合され、「NPO等地域活動団体助成」となりましたので、今年度は、2021年度の本助成採択団体と、2022年度の「NPO等地域活動団体助成」の採択団体の合同による開催でした。

両助成団体、選考委員等を
含む44名が参加しました。

目次:

11月29日(火)13:30～

挨拶

(公財)新潟ろうきん福祉財団

成果報告会「地域社会創造助成事業
助成団体」

- ①NPO法人都岐沙羅パートナーズ
センター
- ②はつめの会
- ③福山新田山暮らし支援会
- ④矢代古民家活用の会

地域円卓会議「助成金が終了しても
事業を継続していくためには、何が
必要か。そのためにろうきん財団が
できること」

司会者

木村真樹氏

(合同会社めぐる 代表)

話題提供者

中川 亨(当財団 専務理事)

会議出席者

磯部 勇作氏(はつめの会)

桑原 幸子氏(選考委員:

NPO法人魚沼交流ネットワーク)

齋藤 主税氏(NPO法人都岐沙羅

パートナーズセンター)

西村 暁良氏(福山新田山暮らし

支援会)

三浦 絵里氏(選考委員:NPO法

人かみえちご山里ファン倶楽部)

記録担当者

大滝 聡氏(選考委員:NPO法人

まちづくり学校)

2021年度地域社会創造助成事業 成果報告会

2021年度採択9団体のうち、4団体から成果報告を行っていただきました。

◆都岐沙羅パートナーズセンター(村上市)

村上市で、1999年から中間支援組織としてコミュニティビジネスや地域づくり支援などに取り組んできました。2019年、2020年、2021年と3年間、本助成金事業に採択され、障がい者アートを活かした商品開発・販売事業モデルを実施。村上市のふるさと納税返礼品を取り扱っている事業者と連携・協働したビジネスモデルの実践報告や啓発活動として開催したフォーラムや展示会が地域の若者にも共感され、広がっていると報告されました。

◆はつめの会(村上市)

村上市で高齢者を中心に自然素材を活かした縄ないづくりを2001年から取り組んできました。2019年、2020年、2021年と3年間、本助成金事業に採択され、古民家を改修し、手仕事場の体験や地域住民の居場所機能として地域の茶の間の開設を行いました。さらに、地域の主婦によるワンデイシェフ方式の「ありあけ食堂」は、スタッフの人員不足などを乗り越え、現在は予想以上の利用実績があることが報告されました。

◆福山新田山暮らし支援会(魚沼市)

魚沼市福山新田集落で、6年前から移住・就農や地域外交流などに取り組んできました。2019年、2020年、2021年と3年間、本助成金事業に採択され、空き家を改修し、滞在施設を整備。けして派手ではない活動ながらも移住希望者との丁寧なやり取りを行い、現在10名弱の移住者があり、今後その成果が見込まれるといった報告されました。

◆矢代古民家活動の会(妙高市)

妙高市で2020年6月に古民家を改修したカフェを開業し、保育園児から高齢者までが集う場として活用されています。2021年、本助成金事業に採択され、古民家の裏林を活用し自然体験活動が可能となる環境整備を行いました。新型コロナウイルスの影響を受け、予定していた催事がすべて実施はできなかったものの、寄付の申し出や会の運営に30～40代の保護者が加わるなど、地域交流・世代間交流の実現に向けた成果が報告されました。



地域円卓会議「助成金が終了しても事業を継続していくためには、何が 必要か。そのためにろうきん財団ができること」

これまで、県内外から講師を招いた「研修会」が開催されていた本セミナーですが、今回は地域ネットワークによる課題解決を進めるため、「地域円卓会議」の手法を学ぶ場としました。

「地域円卓会議」は、社会の困りごとを解決するために、地域の担い手同士が立場や分野を超えて対話できる関係性をはぐくみ、様々な課題解決のアイデアを出し合って実行に繋げていく手法です。すでに多くの地域や自治体などで取り入れられ、会議の参加者等を当事者として巻き込むなど、大きな成果を上げています。

地域社会を良くしていくためには、自団体だけでなく、地域内の多くの団体とつながることが大切です。活動分野や地域が異なっても、参加者同士が対話し、今後の活動に持ち帰って活用できるように企画しました。



冒頭、司会者である木村真樹さんから、「地域の社会課題解決に地域の民間資金がめぐる『お金の地産地消』について、これまでのご自身の取り組みを含めた説明がされました。次に、全員によるグループワークとして3人1グループになり、自己紹介を行いました。

続いて、主催者である当財団の中川専務理事より「助成金が終了しても事業を続けていくために、ろうきん財団にできることは？」と題して、参加者に向けた話題提供を行いました。その後、会議出席者5名よりそれぞれが感じている事業継続の課題、理想と現状とそれを解決していくための取り組みをお話いただきました。



再度参加者でグループになり、事業を続けていくために当財団にできることは何か、感想や意見を出し合っていました。最後に、どのような意見があったのか、5名から発言をいただきました。「地域円卓会議」らしく、途中も積極的に手を挙げる参加者の姿が、「対話し、当事者意識をもって問題解決に向けた具体的な一歩を踏み出す場」となりました。



(公財)新潟ろうきん福祉財団

新潟市中央区新光町6番地2
勤労福祉会館4階

電話: 025-288-5273
FAX: 025-288-5274